



2021年12月期 第3四半期 決算概要

東証1部 3064

株式会社MonotaRO
www.monotaro.com

事業概要と特長・差別化戦略

■ 主な事業内容

- インターネット等を利用した、事業者向け工場・工事用、自動車整備用等の間接資材の通信販売
(商品点数:1,800万点超・うち当日出荷対象商品61.0万点、在庫点数48.9万点)

■ 販売商品の特長

- 種類は多岐にわたり、顧客にとっては価格よりも利便性が重要

■ 従業員数(連結・2021年9月末)

	正社員		アルバイト・派遣		計	
本社等(内、MonotaRO)	788	(463)	391	(366)	1,179	(829)
物流センター(同)	160	(115)	1,507	(1,429)	1,667	(1,544)
計(同)	948	(578)	1,898	(1,795)	2,846	(2,373)

■ 主な競合

- 訪問工具商・金物屋・自動車部品商、インターネット通販サイト等

■ 主な顧客層

- 製造業、建設・工事業、自動車整備業等(中小企業が中心顧客)

■ 市場規模

- 5~10兆円

■ 経営戦略

- インターネットを活用して規模の経済を実現し幅広い商材と高い検索性で差別化する。
- 累積する受注・顧客データベースを整備分析したマーケティングで顧客を囲い込む。
- ソフト開発からコンテンツ制作までの多くを自社で行うことで高い生産性を実現する。

2021年12月期 第3四半期 【単体】決算概要

【単体】2021年度 第3四半期 損益計算書サマリー 1/3

	2020年度Q3累計 実績		2021年度Q3累計 計画		2021年度Q3累計 実績			
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	前年 同期比	計画比
売上高	110,848		136,858		133,306		+20.3%	△2.6%
内 大企業連携	17,907	16.2%	25,250	18.5%	25,843	19.4%	+44.3%	+2.3%
売上総利益	31,723	28.6%	39,516	28.9%	38,420	28.8%	+21.1%	△2.8%
販売管理費	16,945	15.3%	21,172	15.5%	20,584	15.4%	+21.5%	△2.8%
営業利益	14,777	13.3%	18,343	13.4%	17,835	13.4%	+20.7%	△2.8%
経常利益	14,803	13.4%	18,329	13.4%	17,919	13.4%	+21.0%	△2.2%
当期純利益 (法人税等税率)	9,915 (30.6%)	8.9%	12,722 (30.6%)	9.3%	12,407 (30.7%)	9.3%	+25.1%	△2.5%

※注: 大企業連携売上2020年度Q3累計実績は修正後のもの。

【単体】2021年度 第3四半期 損益計算書サマリー 2/3 対前年

	20年度Q3累計実績(A)		21年度Q3累計実績(B)		増減(B-A)		
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比			
売上高	110,848	—	133,306	—	増減金額 (百万円)	+22,458	■ 事業者向けネット通販事業・購買管理システム事業(大企業連携)とも注文単価、頻度、顧客数増。大企業連携は、前年の新型コロナウイルスによる需要減速の反動もあるが、高成長を維持(対前年同期:+44.3%)。
					増減率	+20.3%	
					売上比増減	—	
売上総利益	31,723	28.6%	38,420	28.8%	増減金額 (百万円)	+6,696	■ 商品粗利率減(△0.3pt.:大企業連携売上比率増、PB/輸入商品売上比率減、PB/国内商品粗利率減、等)。 ■ ロイヤリティ受領額増。 ■ 配送料・諸掛率減(+0.2pt.:注文単価増による配送料率減)。
					増減率	+21.1%	
					売上比増減	+0.2%	
販売管理費	16,945	15.3%	20,584	15.4%	増減金額 (百万円)	+3,638	■ 物流拠点準備・保守費率増(+0.2pt.:茨城中央SC稼働準備、保守費用率増)。 ■ システム利用料率増(+0.1pt.:ビッグデータ使用増)。 ■ 減価償却費率(+0.2pt.:茨城中央SC稼働に伴う減価償却費率増)。 ■ 設備賃借料率減(△0.1pt.:茨城中央SC稼働に伴うバックヤード用外部倉庫賃借減等)。 ■ 通信費率減(△0.1pt.:カタログ発送費用率減)。
					増減率	+21.5%	
					売上比増減	+0.1%	
営業利益	14,777	13.3%	17,835	13.4%	増減金額 (百万円)	+3,058	■ 売上総利益率が改善し、営業利益率/売上比改善。
					増減率	+20.7%	
					売上比増減	+0.1%	
当期純利益 (法人税等税率)	9,915 (30.6%)	8.9%	12,407 (30.7%)	9.3%	増減金額 (百万円)	+2,491	■ 営業利益率上昇および前年2020Q3に計上した特別損失(中国子会社清算に伴う減損損失:523百万円)の反動により当期純利益率上昇(+0.4pt.)。
					増減率	+25.1%	
					売上比増減	+0.4%	

【単体】2021年度 第3四半期 損益計算書サマリー 3/3 対計画

	21年度Q3累計計画(A)		21年度Q3累計実績(B)		増減(B-A)		
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比			
売上高	136,858	—	133,306	—	増減金額 (百万円)	△3,552	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業者向けネット通販事業:新規顧客獲得の計画未達、建設・工事業、自動車整備業、その他(一般個人顧客を含む)の既存顧客の注文減速等により、計画に織り込んだ成長を達成できず。 ■ 購買管理システム事業(大企業連携):計画を上回って成長(対計画:+2.3%)。
					増減率	△2.6%	
					売上比増減	—	
売上総利益	39,516	28.9%	38,420	28.8%	増減金額 (百万円)	△1,095	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商品粗利率減(△0.3pt.:大企業連携売上比率増。国内商品粗利率減、輸入商品売上比率減、等)、 ■ ロイヤリティ受領額増。 ■ 配送料・諸掛率減(+0.1pt.:注文単価増に伴う配送料率減)。
					増減率	△2.8%	
					売上比増減	△0.1%	
販売管理費	21,172	15.5%	20,584	15.4%	増減金額 (百万円)	△587	<ul style="list-style-type: none"> ■ システム利用料率減、減価償却費率減(△0.2pt.:新システム稼働遅れ)。 ■ 設備賃借料率増(+0.1pt.:一時的入荷増対応・大型商品のための外部倉庫賃借開始が計画から前倒し)。
					増減率	△2.8%	
					売上比増減	△0.1%	
営業利益	18,343	13.4%	17,835	13.4%	増減金額 (百万円)	△508	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上総利益率が減となるも販売管理費率減により、営業利益率/売上比は計画と同レベルに着地。
					増減率	△2.8%	
					売上比増減	+0.0%	
当期純利益 (法人税等税率)	12,722 (30.6%)	9.3%	12,407 (30.5%)	9.3%	増減金額 (百万円)	△315	<ul style="list-style-type: none"> ■ 営業利益率と同様に当期純利益率も計画と同レベルに着地。
					増減率	△2.5%	
					売上比増減	+0.0%	

【単体】2021年度 第3四半期 貸借対照表サマリー

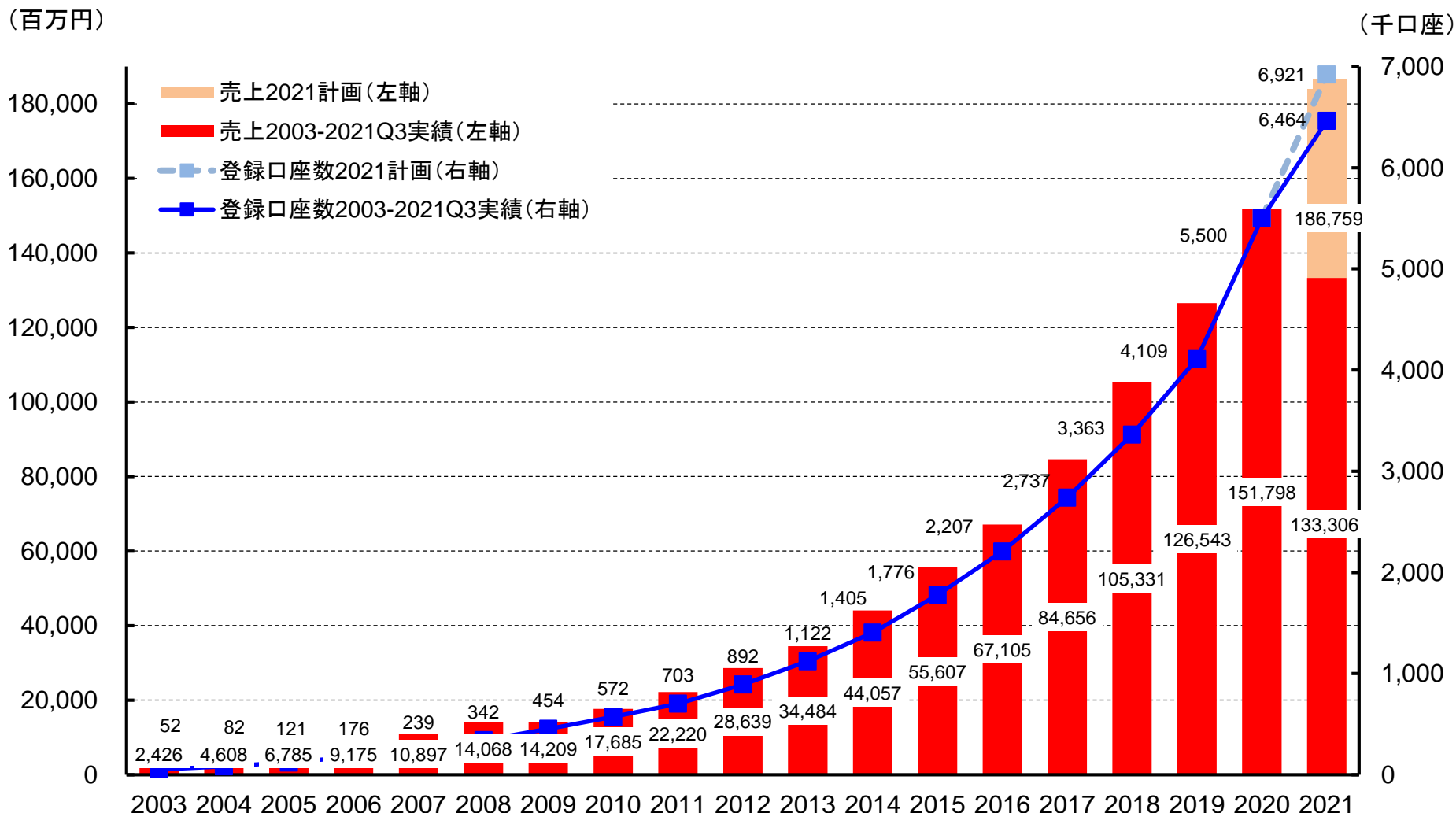
	2020年 9月	2020年 12月	2021年 9月		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比	
資産の部					
流動資産	現預金	13,823	16,691	6,831	7.8%
	売掛金	16,851	18,129	21,067	24.2%
	棚卸資産	12,132	11,296	14,325	16.4%
	その他	4,877	5,154	5,691	6.5%
流動資産合計		47,684	51,271	47,917	55.0%
固定資産	有形固定資産 ^(注1)	17,787	19,052	26,855	30.8%
	無形固定資産	3,859	4,008	5,348	6.1%
	投資その他 資産	5,412	6,629	7,047	8.1%
固定資産合計		27,059	29,690	39,250	45.0%
資産合計		74,744	80,962	87,167	

※注1: 2020年9月から2021年9月の有形固定資産増90億円(減価償却後)は
茨城中央SC分の32億円(2021年3月稼働開始)・猪名川DC分の61億円
(稼働前:建設仮勘定)を含む。

	2020年 9月	2020年 12月	2021年 9月		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比	
負債の部					
流動負債	買掛金	10,634	11,165	12,732	14.6%
	短期 借入金等 ^(注2)	—	—	—	0.0%
	その他	8,541	10,644	7,586	8.7%
流動負債合計		19,175	21,810	20,319	23.3%
固定負債		10,665	11,013	11,491	13.2%
負債合計		29,841	32,823	31,810	36.5%
純資産の部					
株主資本合計		44,840	48,066	55,267	63.4%
新株予約権		62	72	90	0.1%
純資産合計		44,903	48,138	55,357	63.5%
負債・純資産 合計		74,744	80,962	87,167	

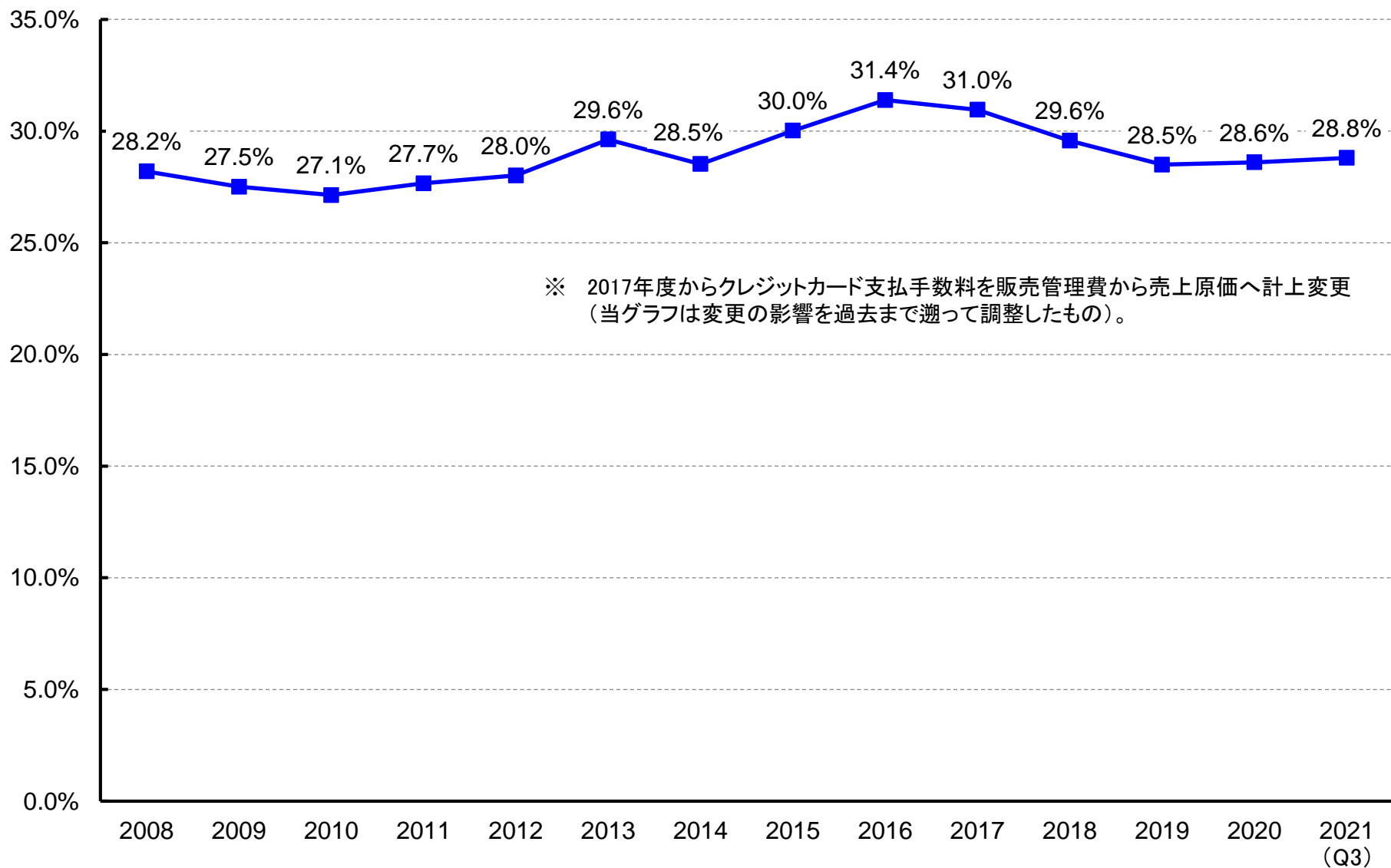
※注2: 短期借入金等・・・短期借入金および一年内返済長期借入金

【单体】売上・登録口座数推移

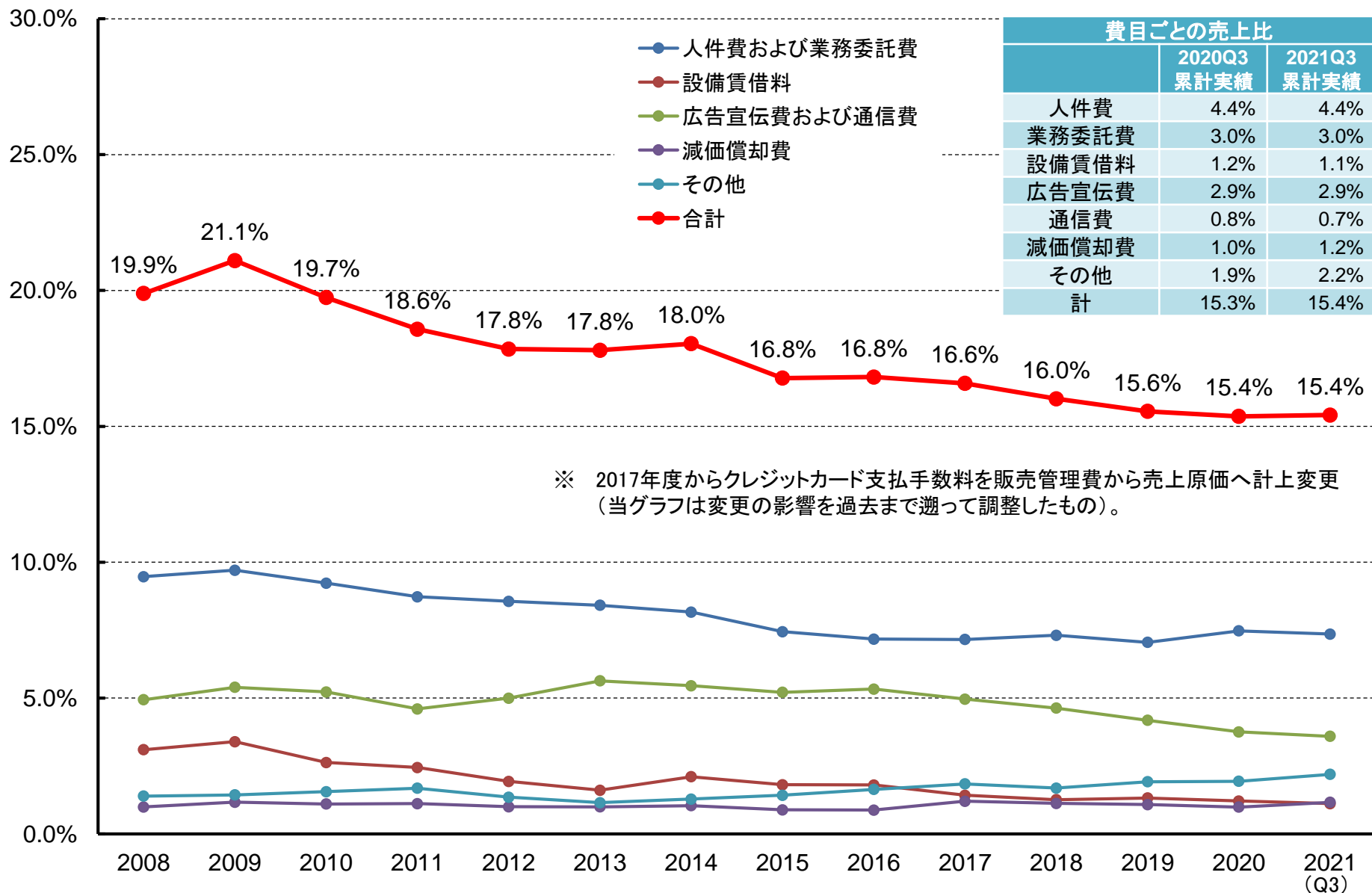


	2020年12月末	2021年9月末		2021年12月末(計画)	
登録口座数	5,500,774	6,464,179	+963,405 (対2020年12月末)	6,921,874	+1,421,100 (対2020年12月末)

【単体】売上総利益率推移



【単体】販売管理費率推移



2021年12月期 第3四半期 【連結】決算概要

【連結】2021年度 第3四半期 損益計算書サマリー 1/2

	2020年度Q3累計 実績		2021年度Q3累計 計画		2021年度Q3累計 実績			
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	前年 同期比	計画比
売上高	114,837		142,213		138,450		+20.6%	△2.6%
売上総利益	32,601	28.4%	40,748	28.7%	39,511	28.5%	+21.2%	△3.0%
販売管理費	18,233	15.9%	22,684	16.0%	21,970	15.9%	+20.5%	△3.2%
営業利益	14,368	12.5%	18,064	12.7%	17,541	12.7%	+22.1%	△2.9%
経常利益	14,405	12.5%	18,111	12.7%	17,668	12.8%	+22.6%	△2.4%
当期純利益 (法人税等税率)	9,999 (30.3%)	8.7%	12,496 (31.0%)	8.8%	12,142 (31.2%)	8.8%	+21.4%	△2.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	10,191	8.9%	12,647	8.9%	12,291	8.9%	+20.6%	△2.8%

【連結】2021年度 第3四半期 損益計算書サマリー 2/2

■ NAVIMRO (韓国)

- 顧客獲得計画は達成するも初回注文率・リピート率は未達となり、売上は計画未達(現地通貨)。
- 仕入価格上昇による粗利率減により、営業利益も対計画未達。

	2020年度Q3累計 実績			2021年度Q3累計 計画			2021年度Q3累計 実績				
	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
売上	36.8	+11.4%	+16.9%	46.3	+25.8%	+24.4%	47.3	+28.6%	+2.2%	+20.0%	△3.5%
営業利益	0.7	—	—	1.2	+67.7%	+65.8%	1.1	+61.5%	△3.7%	+50.7%	△9.1%
当期純利益×持分(※注1)	0.6	—	—	1.2	+77.5%	+75.5%	1.0	+59.0%	△2.6%	+48.4%	△8.1%

■ MONOTARO INDONESIA (インドネシア)

- 新規顧客獲得計画未達および新型コロナウイルス再拡大により売上は対前年実績・対計画減。
- 売上計画は未達となるも、損失はほぼ計画内。

	2020年度Q3累計 実績			2021年度Q3累計 計画			2021年度Q3累計 実績				
	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
売上	2.7	+2.7%	+6.8%	4.4	+59.8%	+59.8%	2.7	△0.8%	△37.9%	△3.4%	△39.6%
営業利益	△2.3	—	—	△2.2	—	—	△2.0	—	—	—	—
当期純利益×持分(※注1)	△1.1	—	—	△1.0	—	—	△1.0	—	—	—	—

■ IB MONOTARO (インド)

- 既存顧客の低リピート率および新型コロナウイルス再拡大により売上計画は30%超の未達。
- 売上計画は未達となるも、損失はほぼ計画内。
- サプライチェーン品質や代引配送に係る注文キャンセルについて改善中。

	2020年度Q3累計 実績			2021年度Q3累計 計画			2021年度Q3累計 実績				
	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
流通総額(GMV)	—	—	—	4.6	(※注2) —	(※注2) —	3.0	(※注2) —	△33.4%	(※注2) —	△36.1%
売上	—	—	—	2.7	(※注2) —	(※注2) —	1.9	(※注2) —	△28.6%	(※注2) —	△31.5%
営業利益	—	—	—	△1.4	—	—	△1.4	—	—	—	—
当期純利益×持分(※注1)	—	—	—	△0.5	—	—	△0.5	—	—	—	—

※注1: 当期純利益に各年度末時点の持分比率を乗じた参考値。

※注2: 2021年1月事業開始であるため前年同期比は算定せず。

【連結】2021年度 第3四半期 貸借対照表サマリー

	2020年 9月	2020年 12月	2021年 9月		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比	
資産の部					
流動資産	現預金	14,556	18,843	8,900	10.2%
	売掛金	16,962	18,267	21,264	24.3%
	棚卸資産	12,601	11,874	15,136	17.3%
	その他	4,950	5,278	5,894	6.7%
流動資産合計		49,070	54,264	51,195	58.5%
固定資産	有形固定資産	17,844	19,086	26,919	30.7%
	無形固定資産	3,963	4,829	6,167	7.0%
	投資その他 資産	2,999	3,081	3,289	3.8%
固定資産合計		24,807	26,998	36,376	41.5%
資産合計		73,877	81,263	87,572	

	2020年 9月	2020年 12月	2021年 9月		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比	
負債の部					
流動負債	買掛金	11,006	11,643	13,152	15.0%
	短期借入金等	—	—	—	0.0%
	その他	8,724	10,898	7,875	9.0%
流動負債合計		19,731	22,542	21,027	24.0%
固定負債		10,718	11,062	11,572	13.2%
負債合計		30,450	33,604	32,600	37.2%
株主資本合計					
		43,223	46,805	53,873	61.5%
その他		204	852	1,099	1.3%
純資産合計		43,427	47,658	54,972	62.8%
負債・純資産合計		73,877	81,263	87,572	

※短期借入金等・・・短期借入金および一年内返済長期借入金

【連結】2021年度 第3四半期 キャッシュフローサマリー

	2020年度 Q3累計	2021年度 Q3累計
	金額(百万円)	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	14,353	17,641
売上債権の増減額(△は増加)	△2,497	△2,994
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,060	△3,255
仕入債務の増減額(△は減少)	1,194	1,506
法人税等の支払額	△4,804	△7,086
その他	2,124	173
計	9,309	5,985
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産取得による支出	△6,389	△8,200
無形固定資産取得による支出	△1,045	△1,845
その他	△9	(※注) △1,662
計	△7,445	△11,708
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金による収入	9,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,498	—
リース債務の返済による支出	△668	△664
配当金の支払額	△3,970	△5,209
その他	△68	115
計	1,794	△5,758
現金および現金同等物に係る換算差額	△47	54
現金および現金同等物の増減額(△は減少)	3,611	△11,427
現金および現金同等物の期首残高	10,746	18,767
現金および現金同等物の期末残高	14,358	7,339

※注: 海外子会社出資金の定期預金預入を含む。

2021年12月期 第3四半期 事業計画・戦略

事業計画・戦略【単体】2021年度計画

	2020年度 実績		2021年度 計画		
	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	前年比
売上高	151,798		186,759		+23.0%
内 大企業連携	25,179	16.6%	34,680	18.6%	+37.7%
売上総利益	43,475	28.6%	53,852	28.8%	+23.9%
販売管理費	23,325	15.4%	28,810	15.4%	+23.5%
営業利益	20,149	13.3%	25,041	13.4%	+24.3%
経常利益	20,194	13.3%	25,022	13.4%	+23.9%
当期純利益 (法人税等税率)	13,139 (30.6%)	8.7%	17,365 (30.6%)	9.3%	+32.2%

※ 注: 大企業連携売上2020年度実績は修正後のもの。

事業計画・戦略【連結】2021年度計画

	2020年度 実績		2021年度 計画		
	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	前年比
売上高	157,337		194,220		+23.4%
売上総利益	44,694	28.4%	55,565	28.6%	+24.3%
販売管理費	25,086	15.9%	30,887	15.9%	+23.1%
営業利益	19,607	12.5%	24,678	12.7%	+25.9%
経常利益	19,671	12.5%	24,738	12.7%	+25.8%
当期純利益 (法人税等税率)	13,473 (30.8%)	8.6%	17,067 (31.0%)	8.8%	+26.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	13,771	8.8%	17,273	8.9%	+25.4%

※注:公表済の連結業績予想に対して期中最新の連結業績予想が下記変動幅のいずれかを超過した場合、修正開示を行う。

連結売上高: ±5%、連結営業利益: ±10%、連結経常利益: ±10%、親会社株主に帰属する当期純利益: ±10%

事業計画・戦略【連結】2021年度計画 海外子会社

■ NAVIMRO(韓国)

- 顧客ベース、品揃え・在庫拡大等を図り、対2020年度+20%超の売上成長を計画。
- 仕入価格上昇による粗利率減により、足下で営業利益減。

	2020年度実績			2021年度計画		
	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比
売上	51.4	+14.0%	+17.7%	63.5	+23.4%	+23.4%
営業利益	1.0	+552.7%	+574.3%	1.7	+59.4%	+59.4%
当期純利益×持分(※注1)	1.0	+334.6%	+348.9%	1.5	+46.4%	+46.4%

■ MONOTARO INDONESIA(インドネシア)

- 新型コロナウイルスの影響を受けた2020年度から大きく成長する計画だったものの、新型コロナウイルス再拡大・新規顧客獲得計画未達により売上は計画から下振れ。

	2020年度実績			2021年度計画		
	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比
売上	3.7	△3.5%	+0.5%	6.8	+84.2%	+84.2%
営業利益	△3.1	—	—	△3.0	—	—
当期純利益×持分(※注1)	△1.8	—	—	△1.3	—	—

■ IB MONOTARO(インド)

- 2021年1月より連結子会社として事業開始。
- 売上はQ3時点で計画を大きく下回るものの、新規顧客獲得は拡大傾向にある。

	2020年度実績			2021年度計画		
	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比
流通総額(GMV)	—	—	—	7.0	(※注2) —	(※注2) —
売上	—	—	—	4.2	(※注2) —	(※注2) —
営業利益	—	—	—	△1.9	—	—
当期純利益×持分(※注1)	—	—	—	△0.7	—	—

※注1: 当期純利益に各年度末時点の持分比率を乗じた参考値。

※注2: 2021年1月事業開始であるため前年同期比は算定せず。

事業計画・戦略 国内事業 1/3

■ 事業者向けネット通販事業 (monotaro.com)

- 顧客ベース拡大・顧客生涯価値向上
 - 2021Q3累計で96.3万の新規顧客を獲得するも計画未達。
 - SEMの精度向上を引続き図るとともに、ターゲットとなる生涯価値の高い事業者の見込み顧客に高確度で接触可能なオフラインでのマーケティングもテスト実施。
 - 生涯価値をベースに獲得費用の最適化を進める。
- 既存顧客売上拡大施策
 - 「見つける時間」・「購買手続の時間」・「商品を待つ時間」の短縮(検索機能向上、取扱商品点数拡大、在庫点数拡大)を通じ、既存顧客利用増を図る。
 - 商品検索結果・レコメンド表示のパーソナライズ化の推進。リアルタイム化

■ 購買管理システム事業 (大企業連携)

- 2021Q3累計実績
 - 組織強化(エンタープライズ・ビジネス部門設立)も奏功し、連携社数、注文金額、注文頻度とも引続き好調に推移。
 - 前年の新型コロナウイルスの影響による需要減速があったものの、2021Q3累計売上は計画を上回って成長(対前年同期+44.3%、対計画比:+2.3%)。

2020年度Q3累計 実績			2021年度Q3累計 計画			2021年度Q3累計 実績				
金額(百万円)	前年同期比	売上合計比	金額(百万円)	前年同期比	売上合計比	金額(百万円)	前年同期比	計画比	売上合計比	
17,907	+28.5%	16.2%	25,250	+41.0%	18.5%	25,843	+44.3%	+2.3%	19.4%	
		2020年度 Q4末			2021年度 Q3末					
		企業数			企業数	前年度末比				
		連携企業数	1,237			1,685	+448			
		One Source	14			14	+0	1社が導入検討中。		
		One Source Lite	692			1,056	+364	594社が導入検討中。		

※注:大企業連携売上2020年度Q3累計実績は修正後のもの。

事業計画・戦略 国内事業 2/3

■ ロイヤリティ事業

- ロイヤリティ対象事業(親会社Grainger社の米・英Zoroビジネス)は、取扱点数拡大(2021Q3末: 8百万点)等、引続き事業強化中(高販管費計上)ではあるが、売上成長・利益率改善を達成。
- 2021Q3累計のロイヤリティ受領額は対前年・対計画増。

■ データサイエンスに基づくマーケティング力向上

- 事業者顧客獲得へ向けたSEM・SEO向上、商品を「見つける時間」短縮のための検索機能精度向上、販売サイトの「使い易さ」へ向けた継続的サイト改善等に取り組むデータサイエンティスト、ITエンジニア等を引続き採用・強化中。マーケティング力を一層向上させる。
- 検索結果・レコメンドのパーソナライズ化
 - 現状、業種をベースに顧客をグルーピングして検索結果を表示。個々の顧客レベルまで細分化(パーソナライズ化)に取り組む中(2022年を目途)。
 - 一部ページで現在レコメンドのパーソナライズ化実現済。商品の購入バスケット移動時に補完商品のレコメンド表示を開始。
 - 検索結果・レコメンド表示のリアルタイムでのパーソナライズ化にも取り組む。

■ サプライチェーン高度化の新ITプラットフォーム構築

- 商品情報管理システム(Product Information Management/PIM)
 - プロジェクトは2022年年初運用開始スケジュールに沿って進行中。
 - 商品情報入手負荷・コストを軽減しつつ、効率的な「ワンストップショッピング拡大」により、顧客の購買業務における負荷削減を通じ、既存顧客の利用拡大を図る。
- 受発注管理システム(Order Management System/OMS)
 - プロジェクトは2022年年初運用開始スケジュールに沿って進行中。
 - 配送方法・ルートの最適化機能による「商品の到着を待つ時間短縮」。
 - 荷別れ抑制・オペレーション負荷平準化機能による「配送・物流関連コスト抑制」。
 - 今後、更に増加する顧客からの注文とそれに伴う発注・配送に対応。

事業計画・戦略 国内事業 3/3

■ 2021Q4以降、懸念されるリスク

- 2021Q4以降も2021年度中に顕在化した下記外部要因による当社への影響は継続。
- 機会損失発生、売上総利益率減、販管費増のリスクに2021Q4以降も対応。

懸念されるリスク	外部要因	影響	対策
機会損失発生	製造国エネルギー不足・半導体不足等に起因する商品供給低下	欠品増に伴う注文キャンセル増	商品確保強化
GP%減	原材料費・原油価格高騰	調達価格・費用上昇	仕入最適化強化
	為替円安		
	輸入費用高騰 (輸送コンテナ不足等)		積載効率化
販管費増	アルバイト・パート社員採用難	人件費増	オペレーション自動化推進

事業計画・戦略 物流 ①

■ 物流関連コスト2021Q3累計売上比実績:6.1%

- 対2020Q3累計実績と同レベル。
 - 茨城中央SC稼働による減価償却費率および稼働準備関連費用率が増となるも外部倉庫賃借減による設備賃借料率減。
- 対2021Q2累計計画とも同レベル。
 - 減価償却費率増(茨城中央SC運用開始1ヶ月前倒し)となるも、人件費・業務委託費率減(注文単価増による物流業務減)。

■ 在庫

- 2021年9月末実績:48.9万点(新規在庫:4万点・在庫廃止:約3万点)。
- 2021年12月末見込み:48.9万点。

	2020年度Q3累計 実績		2021年度Q3累計 計画		2021年度Q3累計 実績			
	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	前年同期比	計画比
売上高(単体)	110,848		136,858		133,306		+20.3%	△2.6%
減価償却費	676	0.6%	978	0.7%	1,000	0.8%	+47.8%	+2.2%
人件費・業務委託費	3,774	3.4%	4,749	3.5%	4,507	3.4%	+19.4%	△5.1%
設備賃借料	1,236	1.1%	1,185	0.9%	1,247	0.9%	+0.9%	+5.2%
その他	1,070	1.0%	1,403	1.0%	1,401	1.1%	+31.0%	△0.1%
合計	6,757	6.1%	8,316	6.1%	8,156	6.1%	+20.7%	△1.9%

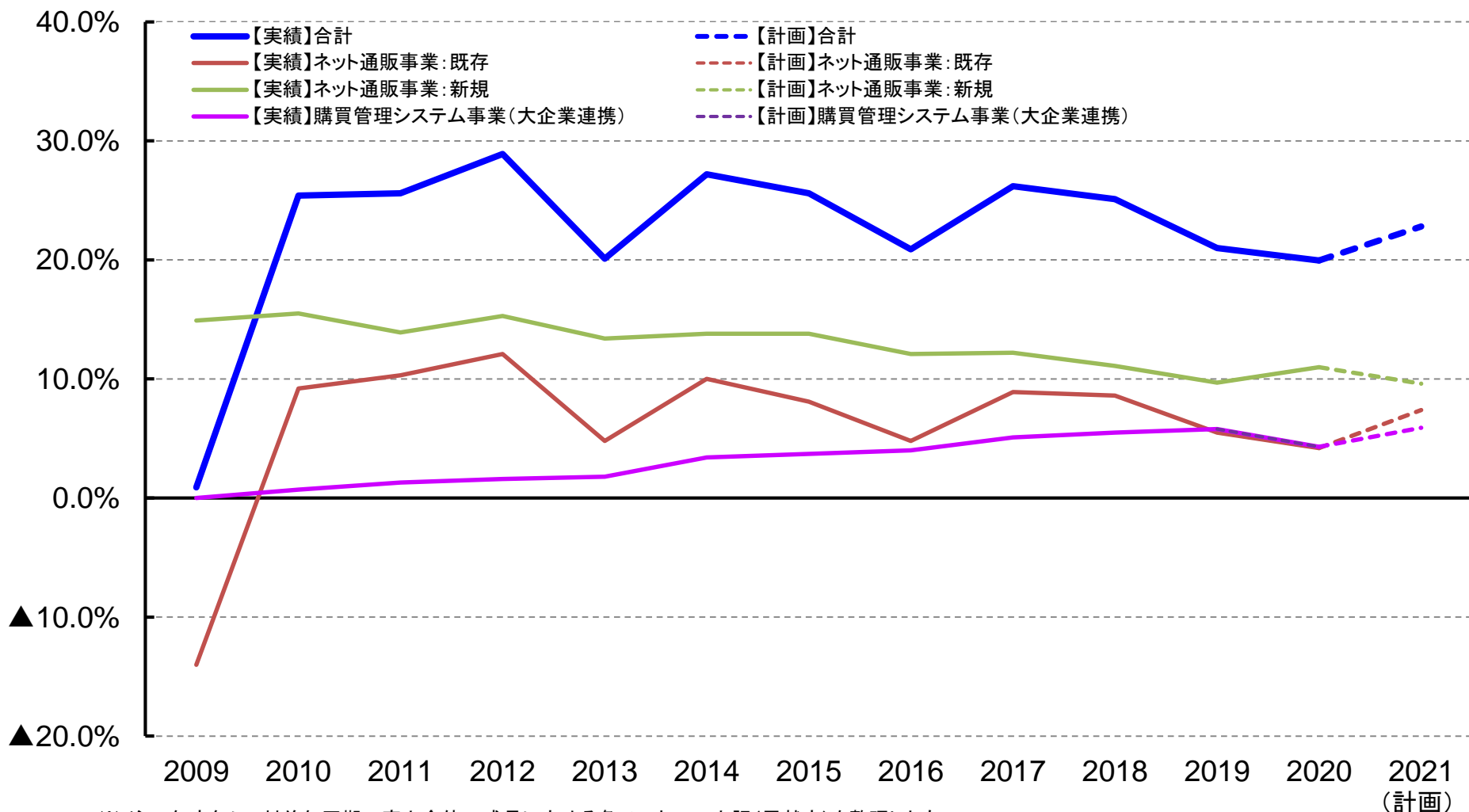
事業計画・戦略 物流 ②

■ 新物流拠点設置状況アップデート

名称		茨城中央SC	猪名川DC	
所在地		茨城県東茨城郡茨城町	兵庫県川辺郡猪名川町	
使用延床面積		約49,000㎡	計約178,800㎡	
在庫能力		需要上位商品 2~3万SKU	計50万SKU	
稼働開始		2021年3月	第1期 2022年4月目途	第2期 2023年Q3目途
出荷能力		約3万行/日	約9万行/日	約9万行/日追加(計約18万行/日)
投資・賃借料	土地	約13億円	—————	
	建物	約61億円	賃借建物 追加工事 約19億円・原状回復費用 約14億円(精査中)	
	賃借料	—————	第1期4.5フロア・危険物倉庫:約215億円(2021~31年 共益費込)	
		—————	第2期1フロア追加 約45億円(2022~31年 共益費込)	
設備	約18億円	約80億円(精査中)	—————	
		—————	約79億円(精査中)	
摘要		バックヤードが主機能。 高需要商品の出荷機能も有り。	1年目は4.5フロアおよび危険物倉庫賃借。 2年目から1フロアを追加し計5.5フロアを賃借。 2021年12月より賃借料の一部を計上開始。	
工事・稼働進捗		稼働開始(2021年3月)	建物建設中	
イメージ				
		竣工写真	進捗状況	

参考資料

【単体】年度売上成長率(事業別/新規・既存顧客別貢献度)

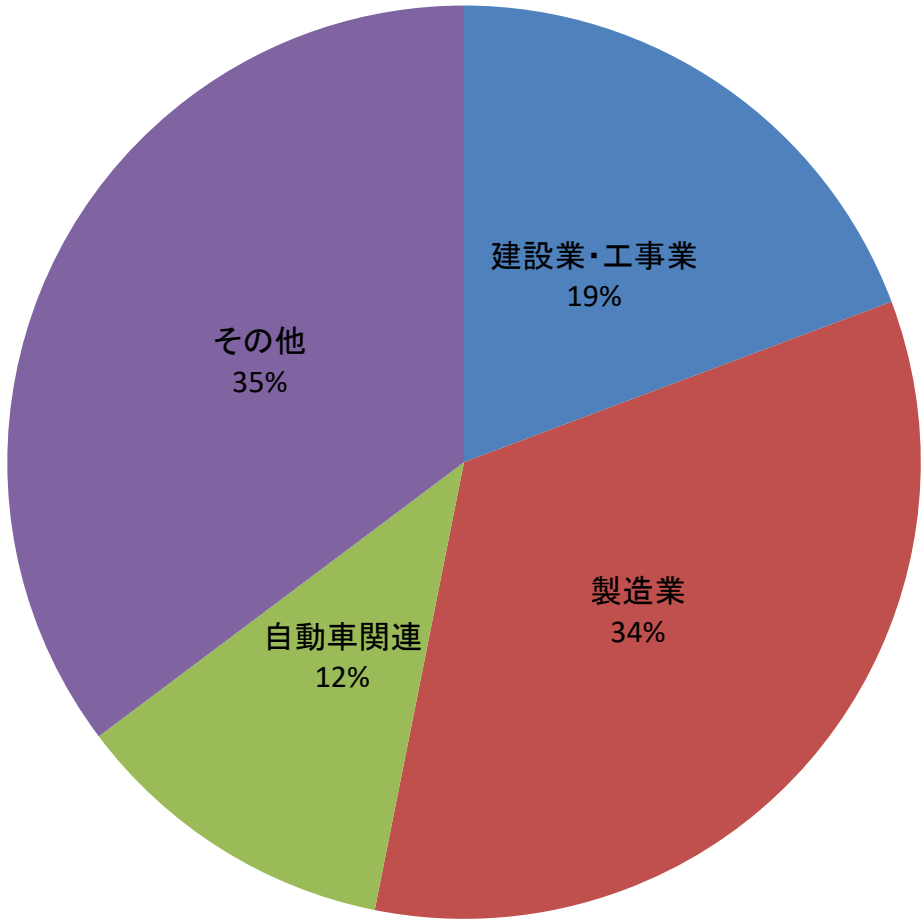


※ 注1: 年度毎に、対前年同期の売上全体の成長に占める各チャネルの内訳(貢献度)を整理したもの。

※ 注2: 「ネット通販事業:新規」は、各年度に獲得した顧客からの売上による貢献度、「ネット通販事業:既存」は、前年度以前に獲得した顧客からの売上による貢献度を示す(前ページの新規顧客の定義とは異なる)。

※ 注3: 『2021年度第1四半期～第2四半期決算説明資料』の一部訂正について(2021年10月29日)の大企業連携売上高訂正による本グラフへの影響は無い。

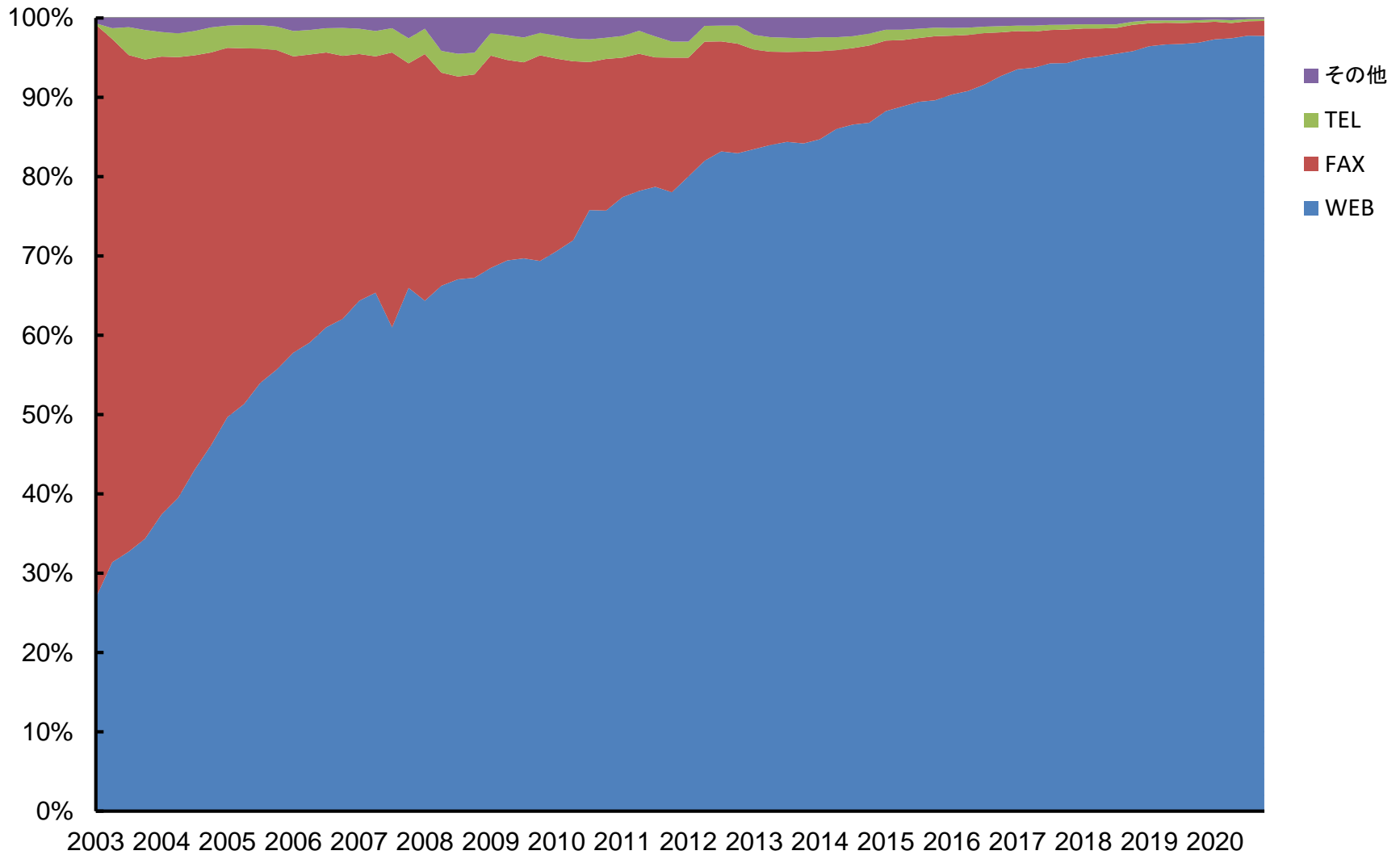
顧客の業種



2020年売上ベース

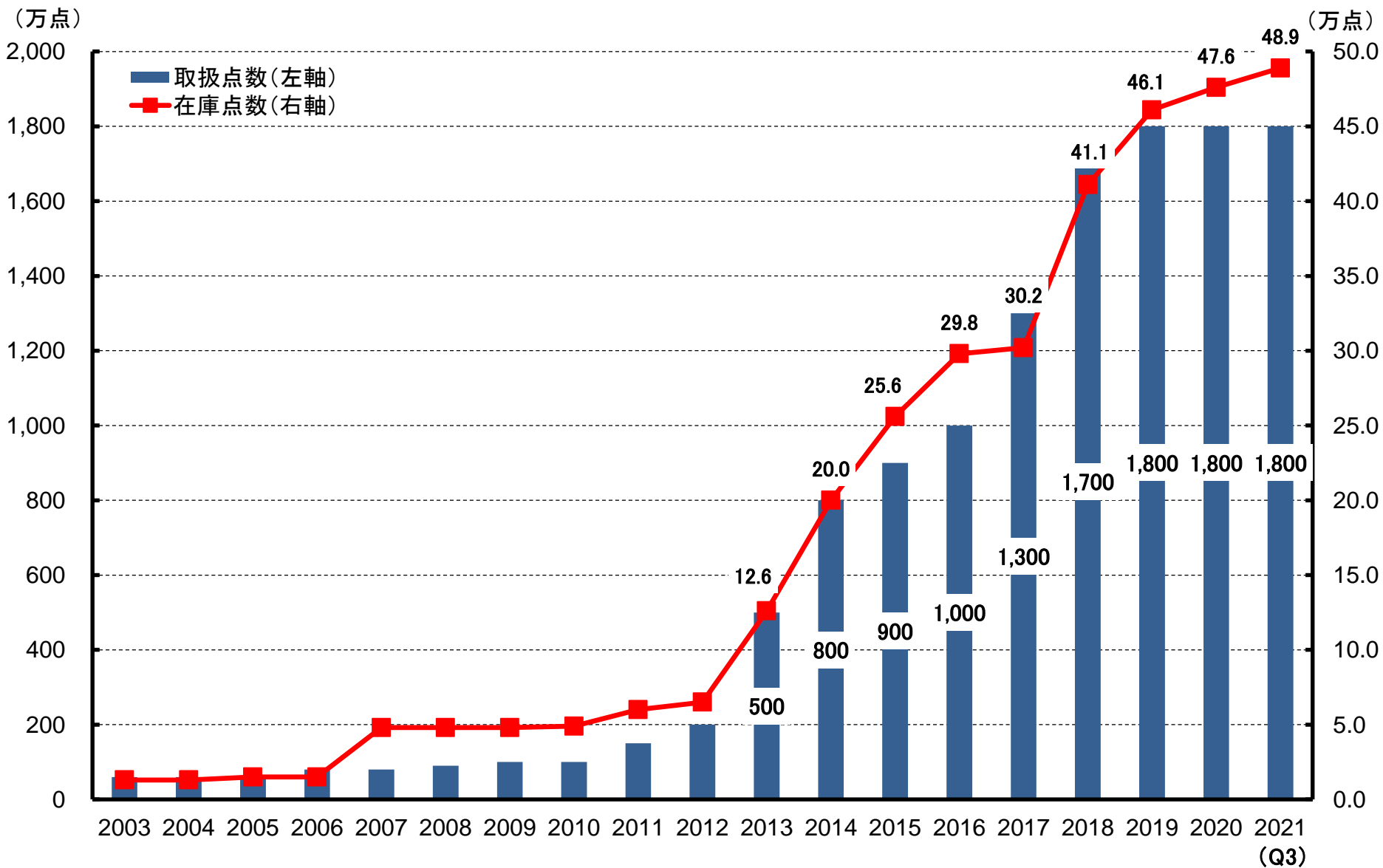
monotaro.com受注のみ(大企業連携を除く)

受注方法比率



各年売上ベース

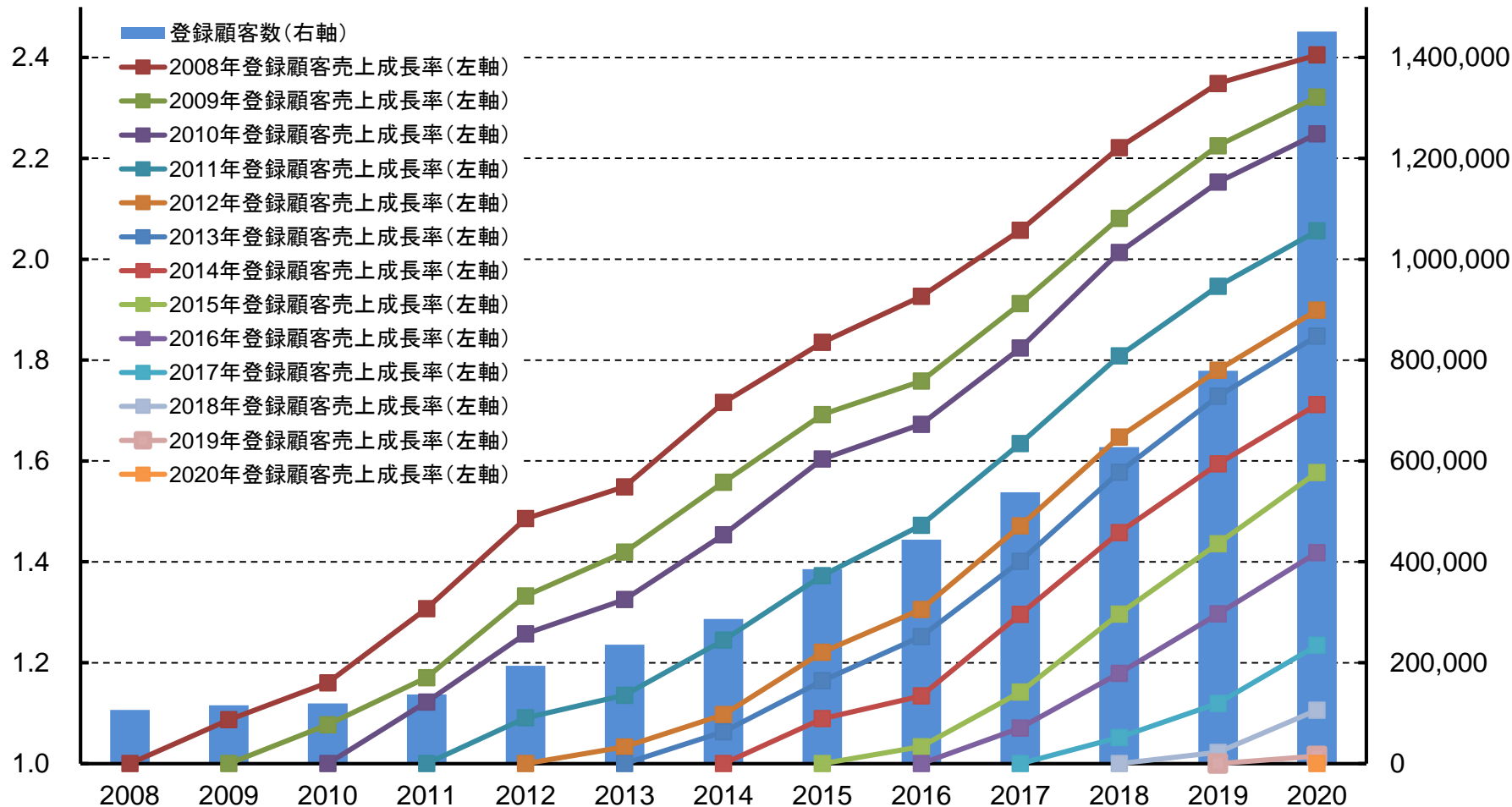
取扱・在庫点数



登録年度別登録顧客数・売上成長率

(購入金額成長)

(登録顧客数)

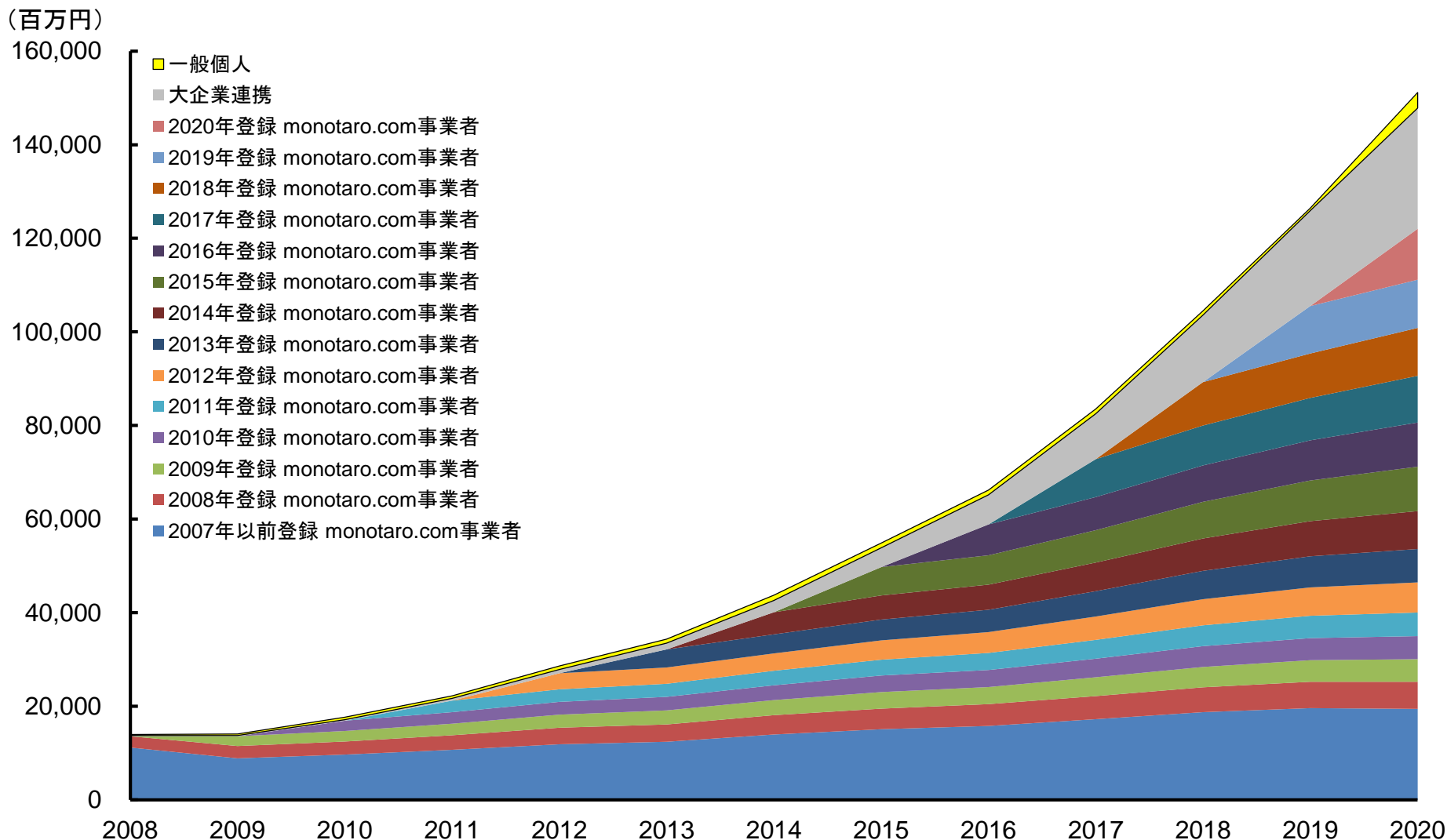


※注1: 棒グラフ(右軸)は該当年度に登録した事業者向けネット通販事業(monotaro.com)の顧客数。

※注2: 折線グラフ(左軸)は該当年度登録顧客の売上成長率。登録年度の売上を1とした場合の倍率。

※注3: 登録顧客数・売上とも2020年度末時点で事業者向けネット通販事業(monotaro.com)顧客のものを各登録年度まで遡って整理したもの(購買管理システム事業/大企業連携へ移行した顧客の売上データは含まれない)。

【単体】登録年度別売上推移



※注1: monetaro.com事業者売上は2020年度末時点のステータスで各登録年度毎に遡って整理したもの。

※注2: 大企業連携売上は2020年度末時点のステータスで遡って合算したもの。

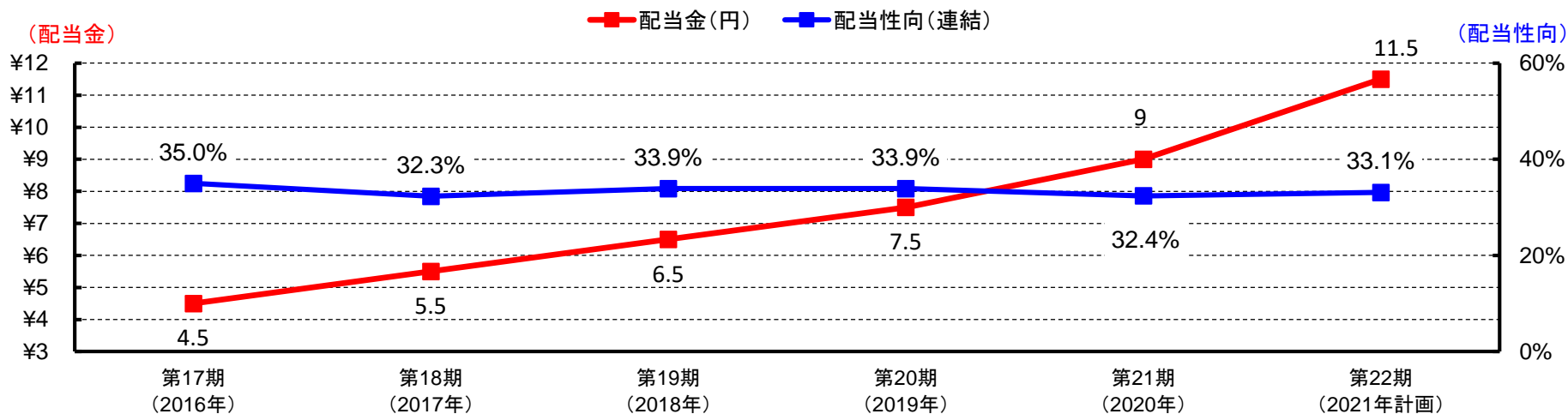
※注3: 『2021年度第1四半期～第2四半期決算説明資料』の一部訂正について(2021年10月29日)の大企業連携売上高訂正による本グラフへの影響は無い。

※注4: 一般個人売上はmonetaro.com一般個人の2020年度末時点のステータスで遡った売上とIHCモノタロウ売上を合算したもの(IHCは閉鎖・monetaro.comへ統合済)。

株主還元

■ 配当の状況

- 配当方針: 安定的かつ継続的な業績成長に見合った成果を配分。
- 第21期(2020年度)配当実績: 1株当たり9円(中間配当4.25円、期末配当4.75円)。
- 第22期(2021年度)配当計画: 1株当たり11.5円(中間配当5.75円、期末配当5.75円)。



※ グラフ内の配当金額は2021年4月1日付およびそれ以前の株式分割を考慮したものの。

■ 株主優待制度

- 12月31日時点で当社株式1単元(100株)を半年以上継続保有されている株主様を対象に実施。
- 継続保有期間(右表)に応じ当社プライベートブランド商品からお選び頂き贈呈。

継続保有期間	優待額
半年以上	3,000円(税抜)
3年以上	5,000円(税抜)
5年以上	7,000円(税抜)

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としていません。

お問合せ先

IR・広報グループ

Tel:06-4869-7190

Fax:06-4869-7178

Mail: pr@monotaro.com

IR情報:<https://corp.monotaro.com/ir/index.html>